

「内視鏡的静脈瘤硬化療法を行った直腸静脈瘤の検討」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2019 年 5 月 13 日から 2019 年 9 月 30 日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

異所性静脈瘤の中で直腸静脈瘤は最も頻度が高いと言われています。治療法として内視鏡治療、カテーテルを用いた治療、外科的手術などの報告がありますが標準的な治療法は確立されていません。当院では内視鏡治療を中心に行っています。今後この治療法の有用性を証明する上でも、当院での経験を報告することに意義があると考えています。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2013 年 4 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日の間に、内視鏡的静脈瘤硬化療法を行った直腸静脈瘤の患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、年齢、性別、採血結果、服薬状況、内視鏡所見、治療後の経過などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・白井 保之の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（も

しくは患者さんの代理人)にご了承いただけない場合には、研究対象としないのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 消化器内科 担当者 白井 保之

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000 (代)